Photo ふなばし

とくしゅう PART 1

全国高校駅伝で３年ぶり２度目の優勝を新記録で飾った市立船橋高校女子駅伝チーム（船橋駅前）

市民芸術・文化活動の発信基地
市民ギャラリー・茶華道センター
オープン

とくしゅう PART 2

全国高校駅伝競走大会で
市立船橋高校女子チームが優勝

とくしゅう PART 3

全国学校合奏コンクールでアベック日本一!!
小栗原小と三田中が記念演奏会

５年連続日本一となった
三田中学校管弦楽部

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- *WE ARE IN FUNABASHI*
- アトリエ訪問
- サークル通信

まちなかの文化財／ふなばしの民話
ペットインタビュー

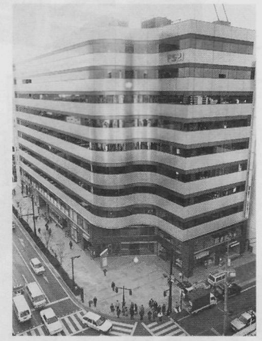
vol. 53
広報ふなばし写真版

市民芸術・文化活動の発信基地

市民ギャラリー・茶華道センター

オープン

船橋スクエア21の完成を祝い、テープカットする関係者の皆さん



市民ギャラリー・茶華道センターがある本町２丁目再開発ビル「船橋スクエア21」

利用に応じて簡単にレイアウトの変更ができる展示パネル

待望の市民ギャラリーのテープカット

船橋にゆかりの芸術家の皆さんの作品を一堂に会した芸術祭が開催されました

市民ギャラリーの延べ床面積は、約1080平方メートル。プロの芸術作品だけでなく、市民の皆さんが日ごろ行っている芸術・文化活動などの成果を気軽に発表する場としてご利用いただけます

市民文化ホールの隣に建設が進められていた本町２丁目中央街区市街地再開発ビル「船橋スクエア21」が完成、１月10日の竣工式に続いて、12日には、同ビル内に完成した「船橋市民ギャラリー」（３階）、「船橋市茶華道センター」（５階）のオープン記念式典が行われました。

開所式で大橋和夫市長は「市民の要望が強かった日本の伝統文化の活動の場がいよいよ完成しました。プロもアマチュアの皆さんも大いに利用して下さい」とあいさつ。居関金一船橋市美術連盟会長も「ぜひ欲しかった施設で、大変うれしく思っています」。また、大網梅雪船橋市華道連盟会長は「活動の場は大きな夢でした。市の文化活動のお役に立ちたい」と喜びを語ってくれました。

約１０８０平方メートルと県内最大規模を誇る市民ギャラリーは、展示室４室、ホール２室からなってますが、パネルを動かすことにより様々な使い方が出来るようになっており、一つの展示ホールとしても利用できるようになっています。茶華道センターは、約４００平方メートル、清心庵など茶室が３室、和室が３室あり、茶華道はもちろん、書道や囲碁、将棋、舞踊などにも使用できるようになっています。

船橋市民ギャラリーでは、１月12日から１月31日まで、オープンを記念して、船橋市にゆかりの深い芸術家の皆さんによる芸術祭が、また、茶華道センターでは、茶会や生け花展が開催され、沢山の皆さんが訪れました。

駅前通りと本町通りが出会う場所にできた「船橋スクエア21」は、船橋市の芸術文化の交差点として大きな役割を果たすことが期待されます。

なお、利用申し込み・問い合わせは、船橋市民ギャラリー☎㉗２１１１まで。

とくしゅうPART 2

全国高校駅伝競走大会で

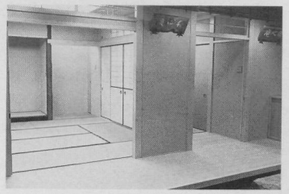
市立船橋高校女子チームが優勝

昨年12月20日、京都で女子第４回全国高等学校駅伝競走大会が行われ、千葉県代表の市立船橋高校が第１回大会以来３年ぶり２度目の優勝を果たしました。記録は、昨年を２秒上回る１時間８分26秒の大会新記録。師走の都大路に再び市船旋風を巻き起こしました。

1時間8分26秒の大会新記録でゴールインした市船女子陸上部。３年ぶり２度目の優勝です

華道や茶道の関係者多数が参列して行われた茶華道センターオープン記念式典

竹垣や石灯ろうなどを揃えたミニ庭園は、都会のけんそうを忘れさせてくれる



茶道の本格的活動に対応できる草庵風茶室

茶華道センターのテープカット

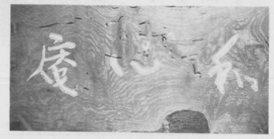
木の香りが漂う茶室でさっそく催されたお茶会

大橋和夫市長書

茶華道センターに掲げられている看板

浅見錦龍氏書

金子聴松氏書



高木東扇氏書

「よくやった」、「〜ちゃん、おめでとー」。日本一となった市船女子駅伝チームを一目見ようと、沿道には約１万人の市民の皆さんが詰めかけ、祝福した

市役所ロビーで行われた優勝報告会では、鈴木秀夫監督や選手の皆さんに温かい祝福の言葉が贈られた

４区を９分12秒の区間新記録で走りぬけ表彰を受ける三田選手

夕食の前に当日の日程などについての全体ミーティング

「クリスマス前に大きな贈り物をありがとう」。蛯江千亜希 キャプテンとガッチリ握手をする大橋和夫市長

レース後、宿舎での祝勝会でお祝いの言葉を述べる牧勇次郎校長

12月22日、優勝を祝してＪＲ船橋駅南口から市役所までの間約1.5キロでパレードが行われ、賞状やカップを手にした選手の皆さんは沿道からの声援や紙吹雪に笑顔で応えた

転倒のアクシデントにも負けず５位まで追い上げ、２区水内選手にリレー

大会前日の綿密なミーティング

スタートと同時に飛び出した中人選手、この後不運にも転倒（12番）

西京極陸上競技場に響くラジオの実況中継は、市立船橋高校蛯江選手の名前を連呼していた。鉛色の空に浮かぶヘリコプターが、トップの到着が近いことを教えてくれる。トラック第１コーナーのカメラマン席は、早くも熱気と緊張に包まれている。

スタートでは、中人選手が転倒し、２区の水内選手も大会の２週間前に疲労骨折している。ほんの30分前、「今年の市船はトップで競技場に戻ることはないだろう」そう思っていた。

それが、３区では横塚選手が一つ順位をあげ４位へ、４区では三田選手が区間新記録の力走を見せ、２位でアンカーの蛯江選手にタスキをつないだ。

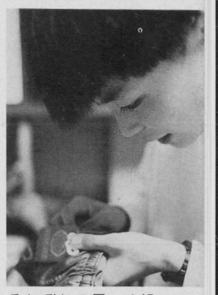
そして今、トップで競技場に姿を見せたのは市船のユニホームだった。肌を震わせるような拍手と歓声。その声援に応えるように、小さな体を左右に大きくゆすりながらダイナミックなフォームでホームストレッチを力強く駆け抜けてくる。３年前の川嶋選手に続いて、再びこの感動の瞬間に立ち会えることを感謝した。

競技場を１周して再びホームストレッチへ。栄光へのゴールめがけて突き進んでくる。チーム５人で、いや、部員全員でつないできた市船のタスキが、今まさに栄光を勝ち取ろうとしている。

両手をあげてゴールイン！

記録は、１時間８分26秒の大会新。市船女子、３年ぶり２度目の優勝だ。ふらつく足元で競技役員に向かって一礼、そこで緊張の糸が切れたのか、トラックの内側に倒れ込んでしまった。

よくがんばった、蛯江選手。そして、感動をありがとう、市船陸上部。



それぞれの思いを込めてお守りをユニフォームに縫い付けます

とくしゅう PART 3

全国学校合奏コンクールでアベック日本一!!

小栗原小・三田中が記念演奏会

深紅の優勝旗を受ける三田中学校管弦楽部の皆さん

楽器を手にして3～4か月でアンサンブルに参加できるようになる

部員の大部分が中学に入ってから楽器を持つ

音楽室は、各パート練習の音が交差して音の洪水

毎日行われる小栗原小の朝練、2月の定期演奏会に向けて熱が入る。今年は合奏クラブ結成20周年の演奏会になる

その美しい旋律は、審査員をも魅了したという小栗原小学校合奏クラブの皆さん

自分より大きいコントラバスを操る子供たち

記念演奏会では、受賞曲チャイコフスキー作「スラブ行進曲」の他、「はまべの歌」も披露した

1月24日に行われたTBSこども音楽コンクールでは2年ぶり8度目の日本一に輝いた

真剣な中にも明るい笑顔が(管楽器のパート練習)

第31回全国学校合奏コンクールで小栗原小学校合奏クラブと三田中学校管弦楽部が最優秀賞を受賞、1月16日、市民文化ホールで表彰式と記念演奏会が行われました。小栗原小学校は5年ぶり5回目、三田中学校は5年連続5回目の日本一で、小中学校の最優秀賞校が同じ市から選ばれるという快挙となりました。

表彰式では、同コンクールを主催する日本教育音楽協会の真篠将会長が「両校ともテクニックはもちろん優れていますが、自分自身が感動を持って演奏し、聴く人に感動を与えるような質の高い演奏でした」と感想を述べた後、両校の代表に深紅の優勝旗と賞状が手渡されました。その後記念演奏会が行われ、小栗原小学校がリムスキー・コルサコフ作曲の交響組曲「シェエラザード」より第四楽章、三田中学校はチャイコフスキー作曲「スラブ行進曲」とそれぞれ受賞曲を喜びも新たに演奏、会場を埋めた両校のPTA関係者や合奏クラブ、管弦楽部の先輩の皆さんなどから一際大きな拍手が送られました。

まちなかの文化財

東明寺（とうみょうじ）（東中山1丁目）

国道十四号線沿いに、目立たないが石の門柱が立ち、「浄土宗東明寺」の寺名が掲げられている。もう一方の石柱のたもとには「部田薬師如来」と刻んだ古そうな石標が見られる。緩やかに上る狭い参道の先に本堂があり、「薬王山」の金文字の扁額が望まれる。

薬王山東明寺という山号寺号からすると浄土宗というのがおかしな感じがする。というのは、浄土宗のご本尊は西方浄土にいらっしゃる阿弥陀さまだし、薬師如来は東方瑠璃光世界の教主さんだからだ。その辺のところを現住の鈴木隆善さんにおたずねすると、住職さんも「うちの寺はほんとよく分からない」とにが笑い。元来は薬師如来を本尊とするお寺だったろうが、いつの頃か浄土宗に改まり今のように阿弥陀如来を本尊と仰ぐようになった。しかし以前からの薬師さまも代々の住職、檀信徒が阿弥陀さまといっしょに大切にお守りしてきたというのが本当のところだろうと思う。いま薬師さまは、一応六十年に一度の御開帳という秘仏扱い。厨子は固く鎖されている。

参道傍らの庚申塔が風格がある。正徳年中栗原須二子村の建立で、青面金剛の切れ長の目に青白くコケが生じたが、それが妙にリアルで凄みを増している。（文・大木勲）

静かにたたずむ庚申塔(左)

市政トピックス

次代を担う若人
1万764人が晴れて成人に

あいにくの雨にもかかわらず、会場は振りそで姿の女性であふれていた

1月15日、成人式が市民文化ホールで行われました。今年、市内で成人式を迎えた新成人は1万764人。当日は、あいにくの雨でしたが、この内6,297人が出席、式典は3回に分けて行われました。式典であいさつに立った大橋和夫市長は、「皆さんが船橋市の21世紀を担う人たちの中心になって活躍されることを祈念します」と晴れ着姿の若者たちを激励していました。また、会場のあちらこちらで楽しげに旧交を温め合う姿も多く見られました。

記念式典は成人式にふさわしく新成人の司会で進められた

「船橋市出身ということを誇りに思って歩んで下さい」と激励する大橋和夫市長

市民文化ホール隣の茶華道センターではお茶がふるまわれた

市民元旦マラソン
1146人が走り初め

中学2・3年女子のスタート

新春恒例の市民元旦マラソン大会が、1月1日運動公園陸上競技場を中心にした周回コースで行われました。当日は絶好のマラソン日和となり、中学生から80歳までのランナー1,146人が日ごろ鍛えた健脚を競いました。

成人の日記念駅伝
1本のタスキに心を集めて

4区から5区へ（豊富小裏門）

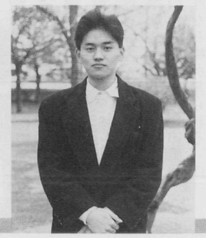
1月15日、第37回「成人の日」記念市民駅伝競走大会が行われました。当日は、あいにくの雨模様でしたが、一般・高校・中学の部に合わせて79チームが参加、7区間23.3kmで争いました。一般の部では第一空挺団陸上部、高校の部では市立船橋、中学の部では前原中がそれぞれ優勝しました。なお、前原中は大会新記録の優勝でした。

冷たい雨の中を79チームが一斉にスタート

市民ひとことインタビュー

テーマ　今年、やってみたいこと

最近引っ越して来たので近所を歩いて街の様子を見て周りたいです。
佐々木康夫さん（薬円台4）
美喜代さん



大学進学が決まったので将来、公認会計士になるための勉強に励みたいです。
日浦正貴さん（高野台4）

今のところ特に思いつきません。
加藤みのりさん（丸山2）
久美子ちゃん（4歳）

ゴルフが上達するようがんばりたいですね。
金子　茂さん（新高根3）

子供の遊び着を作ってあげたいです。
宮坂　麗さん（西船6）
勇輝くん（1歳5か月）

火事ゼロを目指して
新春恒例の消防出初め式

新春の空に舞う、若鳶会のはしご乗り

約20台の消防車両による一斉放水

新春恒例の消防出初め式が、1月8日、船橋オートレース場駐車場で行われました。晴天に恵まれたこの日、会場には消防車両67台、消防局職員や消防団員、そして企業の自衛消防隊員ら1,022人が集合。市消防局音楽隊とラブリー・ファイアー・ガーズによるドリル演技や若鳶会の皆さんによるはしご乗り、そして消防車による一斉放水などが披露され、寒風すさぶなか集まった市民の皆さんから温かい拍手が送られていました。

力を合わせ帆の操作

船橋の海を快走
帆船「海星」で体験航海

1月15日と16日、船橋の海に帆船「海星」が訪れ、大勢の皆さんが帆走の基本を体験しました。この船は、日本セイルトレーニング協会の訓練船として世界の海を航海しているもので、冷たい風が吹きつける船橋沖で、帆の張り方や基本操作などにチャレンジ。船内で味わった熱いコーヒーの味もひとしおでした。

船橋市福祉の街づくり委員会

三つのプロジェクトチームがスタート!!

- 障害者が自由に外出できるような街づくり
- 福祉サービス公社を含む多機能な総合福祉センター構想
- 福祉の街づくりのための条例や建築物対策

人にやさしい街づくりを進めます

1月7日、船橋市福祉の街づくり委員会（高木恒雄委員長）の第2回の会合が開かれ、25人の委員が三つのプロジェクトチームに分かれて専門的な研究を行うことになりました。同委員会は、船橋市が昨年9月に行った「福祉と緑の都市宣言」の記念事業として昨年11月に発足。障害を持つ人や高齢者が暮らしやすい、人に優しい街づくりの実現を目指しています。メンバーは、福祉団体や船橋市医師会の代表、学識経験者、市の建設局長、関係部長などで構成されています。なお、緊急性の高いものは、平成5年の予算に盛り込んでいくことになっています。

委員の皆さんに委嘱状を手渡す大橋和夫市長

お礼のため市役所を訪れた近藤さん夫妻。近藤千代子さんはクモ膜下出血で倒れたが、高規格救急車に同乗していた医師の手当てで一命をとりとめました

患者の心肺蘇生などで成果
特別救急隊

発足から3か月

問合せ　消防局救急課　☎㉟1111

高規格救急車を使用する特別救急隊が発足して3か月。出動は、1月31日現在159回を数え、19人の心肺蘇生に成功するなど大きな成果を上げています。

特別救急隊は、救急救命士と従来よりも高度な研修を修了した救急隊員で編成されています。一刻を争う重度の傷病者の搬送を専門とし、最新機器を備えた高規格救急車内で必要な救命措置などを行っています。また、平日の午前9時から午後5時までは、同じ敷地内にある医療センターの医師が救急隊と一緒に出動して救急隊員とともに救急活動を行うなど全国的にも注目されている方式を採っています。

なお、この医師同乗方式は、4月からは、船橋市医師会の協力により、体制の一層の充実が図られる予定です。

ボランティアグループ訪問 ②

丸山市民の森の自然を守る 丸山サンクチュアリ

丸山サンクチュアリの皆さん

昭和60年にスタート。丸山市民の森の手入れをはじめ、市内や市外での探鳥会などを定期的に行っています。会員は約160人。「手入れといってもホウキで掃くということではなくて、自然をそのままにゴミを拾うだけです」と代表の三神さん。また、鳥のエサ場や水浴び場を作ったり、その補修も皆さんで行っています。エサは、小鳥たちがその日食べられる分だけ置かないと腐ってしまうため、会員の一人が毎日エサを替えています。「カワラヒワ、ウグイス、コゲラなど沢山の鳥が来ていますよ」。将来は、丸山市民の森をエコロジーパークにしたいという三神さん。そのため、鳥たちがもっと人間の近くまで来られるような環境作りをしたいとか。探鳥会での、自然を愛する皆さんの目は、無心に飛ぶ鳥たちを優しく追っていました。

医療センターの前のたんぽで バードウォッチング

金堀町会

待望の金堀町公会堂完成!!

完成した公会堂の前で記念撮影

昨年12月19日、金堀町会（飯島武夫会長）が建設を進めていた金堀町公会堂が完成し、その落成記念式典が多くの関係者の皆さんの出席で行われました。 式典では、飯島町会長のあいさつ、大橋和夫市長、清水公明船橋市自治会連合協議会会長などの祝辞の後、鏡割りが行われ、全員で乾杯して、公会堂の完成を祝いました。これから、町会の皆さんの様々な活動の場として利用されることになります。

関係者の皆さんで鏡割り

アトリエ訪問

書家

金子聴松さん（前原西2）

穏やかに書について 語られる金子さん

様々な作品が飾られて 雰囲気のある書室

JR津田沼駅北口、駅前の近代的なビル街の谷間をくぐり抜けて少し奥へ行くと、静かで落ち着いた雰囲気のある住宅街が広がっている。その一角に金子さんのお宅がある。懐かしい木造の和風の家が豊かな庭の緑の中にひっそりと溶けあって佇んでいる。木の門の引戸をガラリと開けると、母屋の玄関があり、アトリエの書室までは飛び石の続く庭先を通り抜けていく。

アトリエは8畳と6畳の二間。「父親が借家として持っていたんですが、昭和22年頃建てもらったんです。その頃は、小さな家が数軒建っていただけでしたね」。天井がかなり高く、そして、ガラス戸越しには閑静な庭を訪れる小鳥の姿もあって、居るだけで気持ちが落ち着いてくるような部屋である。8畳の部屋の方に大きな座机がある。上にはフェルトが敷かれていて、大きな硯と筆、水差などがある。周囲の鴨居には、名品の書額や掛け軸が飾られていて、まさに書家の部屋ならではの趣である。

書道との出会いは千葉中に入学してから。「叔父の家から通っていたんですが、この叔父が書道をしていまして、吉田苞竹という書家の弟子だったんです。門前の小僧じゃないですけど自然と書き始めまして」。そして、千葉師範学校在学中から金子鷗亭氏に師事。「学校では、浅見喜舟先生に目をかけていただきました」。当時、教員と生徒の合同展覧会が行われていたが、そこで金子さんは知事賞をもらう。「それで病み付きになってしまったんです（笑）。そのとき、中学の部で知事賞をもらったのが喜舟先生のご子息の浅見錦龍さんなんです」。

卒業後は、小学校、高校の教師をしながら書道を続けた。現在は、自宅で書道を教える傍ら、千葉大学の講師をはじめNHK文化センターや池袋のデパートで教室を開いている。また、数々の書道関係の役職を精力的にこなしている。

金子さんは、この程第34回毎日芸術賞を受賞した。対象となったのは、昨年11月3日から8日まで東京セントラル美術館絵画館で開催した「金子聴松書展」。私は、漢時代の隷書が好きで、数年前、ロンドンの大英博物館やストックホルムの民俗博物館で、漢代の木簡や晋代の木簡などを鑑賞して大変感動しましてね。その感動を大作で、会場いっぱいに広げてみたいと考えてやってみたんです」。

受賞作のひとつ「逸見猶吉詩」を書いたその大作は、素朴で味わい深く、エネルギッシュな力強さに満ち溢れていて、直接、詩人の肉声が響いて来るような迫力がある。

ゆっくりと書を語る金子さんの目は優しく嬉しそうに見える。他人には大変に見えるその鍛練努力も、その根底には常に豊かな遊びの精神が脈打つのが感じられる。書は、奥深く極めようも無い。そこが楽しいのだろうか。

点灯式に参加した新成人の 皆さんによる鏡割り

新成人の門出を祝って

船橋大神宮で灯明台祭

1月14日、毎年成人の日の前夜に恒例となった灯明台祭が船橋大神宮の境内で行われ、雨模様にもかかわらず、多くの人でにぎわいました。灯明台の点灯式は5人の新成人の手で行われ、冬の夜空に新成人の皆さんの門出を祝うように暖かい光が輝きました。また、境内には氏子青年会の皆さんが作った熱々のお雑煮と甘酒が用意され、体が冷えきった皆さんは大喜び、白い息を弾ませながら食べている笑顔がとても印象的でした。

神楽殿で新成人から縁起もののお菓子やおもちが配られ、集まった皆さんも大喜び

街 まちかど 角 ホットニュース

皆さんからの情報をお待ちしています。
▷広報課☎㊱2015

新春を飾る '93初春船橋華道展

テープカットを行う関係者の皆さん（右から、大橋和夫市長、大網梅雪船橋市華道連盟会長、堀江康生東武百貨店船橋店店長）

'93初春船橋華道展が1月7日㈭から12日㈫まで東武百貨店船橋店で行われました。初春恒例となったこの華道展には、船橋市華道連盟会員35の流派から149人が出品、会場は華やいだ雰囲気に包まれていました。作品は、前期（1/7～1/9）と後期（1/10～1/12）に分けて展示されましたが、いずれも初春にふさわしいものばかりで、会場を訪れた皆さんも一つ一つじっくりと鑑賞していました。

流派を越えて毎年開催 されている船橋華道展

力士がつくとあっという間にできあがり

つきたてのおもちは最高!! もちつきフェスティバル開催

12月25日、もちつきフェスティバルが武道センターで開催されました。これは、船橋建和工業会が豊寿園のお年寄りやさざんか学園の子供たちなどにつきたてのおもちを食べてもらおうと行ったものです。船橋学園の皆さんのチアリーディングやばか面おどりなども登場し、楽しいひとときを過ごしていました。

ふなばしの民話

胤宗公の悲恋（たねむね）

文・村上昭三

むかし、むかし、下総国は千葉氏が治めていました。これは、その千葉氏の第11代の領主の胤宗公にまつわる話だそうです。

胤宗公は、若年のころ、当時の慣わしで京都御所に出仕しました。ここで、宝蔵の番を命じられました。勤務の間に、宝蔵の鍵を預かる気品のある美しい女官と恋仲になりました。

そうこうしている中に、女官のロから、宝蔵には藤原保昌が大江山で鬼退治に使った大刀が納まっていることを聞きました。

武勇の誉れの高い胤宗公は女官に向い

「それ程の名刀があの宝蔵の中にあるのか。ここにいる間に、一度この目で見たいものじゃ」

と真顔で言いました。

しかし、この大刀は門外不出となっていました。その間、千葉氏のお館様となった胤宗公は、政務に忙殺され、女官のことはうかつに忘れていました。ところがある時、女官は大刀を持ち出したことが発覚して流罪となり、配所でそのまま死亡したという話が伝わりました。

これを知った胤宗公は、京都御所での出来ごとを思い出し、また、かの女官をいたく不びんに思い

「余が悪かった。罪なことをした」

と独り言を言いながら、心から悲しみました。

そこで、女官の菩提を弔うために、高名な仏師に阿弥陀如来のお像を7体彫ってもらいました。そしてそのお像を、かつて本郷村の葛羅井の直ぐ近くにあった満善寺（明治初め廃寺）をはじめ、その周辺の6ヶ寺に納めたということです。

満善寺があった辺り（西船6）

むかし、むかし、下総国は千葉氏が治めていました。これは、その千葉氏の第11代の領主の胤宗公にまつわる話だそうです。

胤宗公は、若年のころ、当時の慣わしで京都御所に出仕しました。ここで、宝蔵の番を命じられました。勤務の間に、宝蔵の鍵を預かる気品のある美しい女官と恋仲になりました。

そうこうしている中に、女官のロから、宝蔵には藤原保昌が大江山で鬼退治に使った大刀が納まっていることを聞きました。

武勇の誉れの高い胤宗公は女官に向い

「それ程の名刀があの宝蔵の中にあるのか。ここにいる間に、一度この目で見たいものじゃ」

と真顔で言いました。

しかし、この大刀は門外不出となっていました。その間、千葉氏のお館様となった胤宗公は、政務に忙殺され、女官のことはうかつに忘れていました。ところがある時、女官は大刀を持ち出したことが発覚して流罪となり、配所でそのまま死亡したという話が伝わりました。

これを知った胤宗公は、京都御所での出来ごとを思い出し、また、かの女官をいたく不びんに思い

「余が悪かった。罪なことをした」

と独り言を言いながら、心から悲しみました。

そこで、女官の菩提を弔うために、高名な仏師に阿弥陀如来のお像を7体彫ってもらいました。そしてそのお像を、かつて本郷村の葛羅井の直ぐ近くにあった満善寺（明治初め廃寺）をはじめ、その周辺の6ヶ寺に納めたということです。

一度断った女官は、愛する胤宗公のために、宝蔵の中からそっと大刀を持ち出し

「どうぞ、この大刀をお持ち下さいませ」

と言って手渡しました。

大刀を受取った胤宗公は、任期が終りました。そして、女官を残して下総の領地に帰って来ました。

それから何年か過ぎまして、幾月か立ちました。

サークル通信

みんなの広場

東船橋カゴくらぶ
宮本中学校体育館

「いい汗かいて健康宣言！」をモットーに平成元年に産声をあげ、5年目を迎えたこのクラブ。以来、部員の友人、そのまた友人と仲間が加わり、今では高校生から40歳を越える方まで、女性も交え40名の部員がいます。練習は、毎週土曜日の夜7時から。「強くなろうとか、試合に勝ちたいというのではなく、仲間とのふれ合いとコミュニケーションを大切にしています」。また、家族ぐるみのバス旅行や暮れの年忘れもちつき大会など部員の家族も一緒に楽しめるくらぶです。あなたも一緒にいい汗をかいてみませんか。

（連絡先：梅田　功　☎23—0104）

これからは、勝つことにも力を入れてみようかと思います

練習にも熱が入ります

◀一人ひとりに細かなアドバイスをしてくれます

一つ一つの作法が静かに進められて行きます▶

木彫り技術の上達だけでなく友達の輪も広がります

みんな楽しみながらやっています

丸山公民館
丸山茶道クラブ

静かな茶室の中で、茶釜の湯の沸騰する音だけが耳に入ってくる、そんな雰囲気がとても印象的。公民館の講習をきっかけに発足したこのクラブ、現在14名の会員の方が毎週火曜日に集まりけいこに励んでいます。この会では、裏千家の入門、小習いといわれる段階を学んでいます。お茶は季節によって、おて前や道具も変えたりと、雰囲気をとても大切にしています。「お茶は色々な作法を覚えるのが大変ですけど、みんな楽しみながらやっています。」今回は、新年の初釜なので皆さん和装ですが、いつもは普段着でもっと気楽な雰囲気でけいこしています。興味のある方は是非。

（連絡先：古内正子　☎38—0962）

葛飾公民館
木彫り同好会

最初は、先生の自宅に数人が集まり活動していたというこの会、現在は、23人の会員の方が第2・4金曜日の午前と午後に分かれて活動しています。作品は、つまようじ入れなどの小物からお盆や状差し、マガジンラックなど色々な物を彫っています。図案から始まって、それぞれの工程を経て仕上げるまでに小さな作品でも1か月程かかるとか。図柄は、草花などを主な題材にしています。作品は、友達にプレゼントすると大変喜ばれるそうです。「サークルで大きな展覧会ができるといいですね」と代表の後藤さん。楽しみながら彫っている姿が印象的でした。

（連絡先：後藤和子　☎31—6050）

ペット インタビュー

最近少し太りぎみ。今はもっぱらダイエットフード（ご長男の勇介君と）

なまえ
クラビス
（ビーグル）

オーナー
斉藤恵子さん
（習志野台4）

僕クラビス。クラッカービスケットが好きでこの名前がついたんだ。みんなクーちゃんて呼ぶよ。ちょっと足が短かいので、ダックスフンドと間違えられるけど、実はビーグル犬。3月で満4歳、人間で言えば、働き盛りの40代ってところかな。自慢は、岩みたいに硬いこの歯。小さいころは、テーブルの足やビニールシート、それからみんなの靴をかじって、迷惑かけたと反省しています。それから、目もとのアイライン。流し目が杉良太郎によく似てるって近所でも評判なんだ。話は変わるけど、僕散歩が大好き。雨が降ろうが、雷が鳴ろうが、いつでもOKさ。ご主人とても優しい女性だから、いつでもいやな顔一つせず、つきあってくれるんだ。これから寒さも本番、風邪に気をつけ、体を大切にしてほしいと思っています。

WE ARE IN FUNABASHI

ART
デンマーク刺しゅう

パターンが可愛いらしく色づかいがシックなところが好きです

保志和江さん
（薬円台1）

小さいときから細かい仕事が好きだったという保志さん。デンマーク刺しゅうとの出会いは、ご主人の仕事関係で住んでいたオーストラリア。「デンマークの方の教室に1年ほど通いました」。デンマーク刺しゅうは、リネン（麻）の布に、花糸という木綿糸をクロスステッチで刺していきます。パターンも伝統的に引き継がれてきたもの。「色はもちろん刺す位置も必ずパターン通りにしないといけないんです」。作業は単純でも根気と集中力が必要とか。最近は、大学生の二人のお子さんもやることもあるそうです。現在、月2回自宅でパッチワークを教えていますが、時々、デンマーク刺しゅうをやることも。デンマークの建物や花、童話を題材にしたパターンが可愛いらしく色づかいもシックなので、新築祝いなどに喜ばれると保志さん。これからも大切に続けていきたいと話してくれました。

まい・ふぁっしょん

洋服やメークも清潔感を大切にしています

西村麻里さん
（習志野台4）

「気に入ればお店やブランドにはこだわりません。清潔感のある純粋な色が好きですネ」という西村さんは、平成4年度のミスさざんか。今日は、クレージュ独特の淡いピンクのミニのスーツ。えりと袖口、そして八つのボタンに同色のミンクの毛皮を使ったとってもフェミニンな雰囲気。足元もベージュのハイヒールですっきりまとめています。「昨年、成人式の記念に作ったんですが、着ると雰囲気が優しくなるので好きなんです」。アクセサリーは服に合わせてさりげなく小さいものを使うようにしているという西村さん。ミスさざんかになって新しい世界が広がったと、大きな瞳が輝きました。

あい・らぶ・ふなばし

チャゲ＆飛鳥の大ファンです

斉　晶岩（サイ　ショウガン）さん
（芝山2）

「船橋は、静かで皆さん親切、とても住みやすいですね」。斉さんは、中国のハルピンのご出身、来日しておよそ2年です。大手の製作所の本社の海外営業本部で活躍されているキャリアウーマン。北京の外国語大学で日本語を専攻、卒業後も通訳として2年間日本語にたずさわっていただけあり、斉さんの日本語はとても流暢です。「こちらに来て困ったのは、ことわざと流行語。辞書を片時も離せませんね」と苦笑。趣味は、読書と音楽鑑賞。星新一さんやチャゲ&飛鳥の大ファンとか。「週に1・2回勤労市民センターのトレーニングルームを利用しています。ストレス解消にもなりますし、とても便利ですね」。これからは、華道や茶道、着付けなど積極的にチャレンジしたいという斉さん、日本の文化にとても興味を持っています。

ご主人

右から二人目が渡辺さん

ちゃんこ富士

渡辺秀子さん

習志野台1—29—1
☎(64)3566

冬の夜、大勢で囲むちゃんこ鍋はこたえられませんね。このちゃんこ鍋も相撲部屋ごとに受け継がれてきた味があり、中でも九重部屋のごまだれちゃんこは群を抜くといいます。

今、九重部屋には船橋出身の錦戸親方がいます。現役時代のしこ名は富士乃真。52年ぶりの船橋出身の幕内力士とあって注目されていました。

平成2年に引退してからは、九重部屋の若手の指導に努めています。ここ「ちゃんこ富士」の女将は渡辺秀子さん。錦戸親方のお母さんです。店を始めるにあたり、鍋の作り方については親方から厳しく指導を受けました。特にスープは九重部屋秘伝で、煮詰ってもうまさが変わらないと大評判です。お酒好きのお客さんも、ここに来るとちゃんこがうまくて飲んでるひまがないと嘆くほど。すりばちの器に具が山盛りなのに千七百円と値段もお手頃です。

この一月十五日には親方にご長男が誕生し、板前に立つ「おばあちゃん」も笑顔が絶えません。

あとがき

◇昨年の暮れ、習志野市にお住まいの近藤千代子さんとご主人が市役所を訪れました。千代子さんが船橋市内の会社で仕事中にクモ膜下出血で意識を失ったものの、特別救急隊の高規格救急車に同乗していた医師の手当てにより一命をとりとめ、その後も後遺症もなく順調に回復、お礼に市役所を訪れたものでした。本号（11ページ）でも紹介していますが、船橋市は、救急救命士などで編成した特別救急隊を昨年11月にスタートさせました。平日の午前9時から午後5時までは、医療センターの医師が特別救急隊と一緒に出動するという全国的にも注目されるシステムを採用しています。「病気にならないのにこしたことはありませんが、お元気になられて良かったですね」と大橋和夫市長。現在、職場復帰を目指して療養中という近藤さんの笑顔が印象的でした。4月からは、船橋市医師会のご協力により、特別救急隊の一層の充実が図られることになっています。

毛国倫さんご夫妻

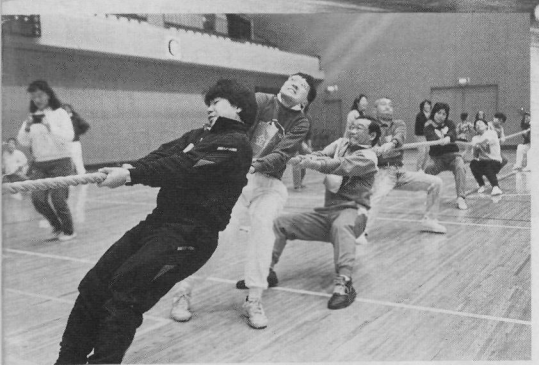
日中国交正常化20周年記念

チャリティ

毛国倫中国画展

1月5日から10日まで市民文化ホールで、中国の著名な画家である上海中国画院主任教授毛国倫先生の中国画展が開かれました。会期中は大勢のファンが訪れ、中国画の真髄をたんのうしていました。なお、売り上げは、日中の高齢者福祉に充てられます。

▲554回という大記録を達成した湊町小学校



力の入った熱戦が繰り広げられた綱引き大会

1月31日、長縄跳び大会と綱引き大会が運動公園体育館で行われました。午前中に行われた長縄跳び大会には、市内の全小学校55校が参加。20分の持ち時間に日ごろの練習の成果を発揮しました。その結果、湊町小学校が554回と大会記録を大きく破る新記録で優勝しました。また、2位の三山東小学校も472回の新記録でした。なお、17校が100回以上を跳ぶなどレベルも年々上がってきています。

午後から行われた綱引き大会には、小・中学校のPTAやスポーツ健康大学のOBチームなど16チームが参加、熱い戦いが繰り広げられました。そして、大穴北小学校チームが見事優勝しました。

スポーツで健康ふなばし こんにちは…

僕もお菓子屋さんになりたいナ!!

練り切りや桜もち、ショートケーキなどにチャレンジしました

1月26日、船橋市菓子工業組合が光風みどり園を慰問しました。子供たちに実際にお菓子づくりを体験してもらい自分たちで作ったお菓子を食べてもらおうというもので今年で4回目。「子供たちの笑顔に触れるとまた来年も、という気持ちになります」と組合長の初谷さん。子供たちの「僕もお菓子屋さんになりたい」という声に会場もなごやかになっていました。

FMラジオ広報 ベイエフエム bay fm 78MHz

『フナバシ・タウンクルーズ』

▶ウィーク・エンドの朝。ステキなポップスにのせて、船橋市の最新情報をお届けしています。

ON AIR

▶毎週土・日曜日のあさ　7時55分から

▶くわしくは広報課(☎36-2015)まで

PHOTOふなばし　第53号　発行　船橋市　平成5年1月編集　編集　船橋市広報課　印刷　㈱総合印刷新報社